

渺 茫

びょうぼう

教 育 目 標

緑が丘で いきいき

わくわくする活動の中で

○しっかり学ぶ かしこい子

○助け合う やさしい子

○すこやかで 元気な子

学校ホームページ

QRコード



今年度もよろしくお願いたします

校長 吉田 貴弘

本日より、令和8年度の三石小学校がスタートいたしました。児童114名、職員16名での新たな出発です。今年度も職員一丸となり、子供たち一人一人のより良い成長を目指して教育活動に取り組んでまいります。保護者並びに地域の皆様におかれましては、本校の教育活動に対し、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

さて、本日行われた始業式では、子供たちに1学期特にながらばってほしいことをお話ししました。その1つが「**自分からあいさつをしよう**」です。

あいさつは「お互いの存在を認め合う行為」と言われています。人は誰も「人に認められたい」という承認欲求をもっています。あいさつを交わすことで、自分の存在が相手に受け止められ、大切にされていると感ずることができずす。その積み重ねが承認欲求を満ちし、相手との関係を良好に保つことにつながります。あいさつは、する側もされる側も気持ちがよくなるのはそのためです。反対に、あいさつがないことは、時に相手を見無視しているかのような印象を与え、関係性の悪化を招くこともあります。**より良い人間関係を築いていくうえで、あいさつは欠かすことのできない大切な習慣**です。



一方で、緊張や照れ、不安などから、自分からあいさつをすることに抵抗を感じる人もいます。しかし、あいさつは繰り返し練習することで、次第に自然にできるようになると言われています。私は、その**練習の場として学校は最適である**と考えています。さまざまな先生や友達と積極的にあいさつを交わすことで、より良い人間関係を築くとともに、これからの社会でますます重要となるコミュニケーション能力の向上にもつながるのではないかと考えています。

また、あいさつは家庭生活の中にも数多くあります。

【生活リズムを育むあいさつ】「おはよう」「おやすみなさい」

【出発や見送りのあいさつ】「行ってきます」「いってらっしゃい」「ただいま」「おかえり」

【食事のあいさつ】「いただきます」「ごちそうさま」

三石小学校では、今年度これまで以上に「あいさつ」の指導に力を入れてまいります。ぜひご家庭でもあいさつについて話題にさせていただき、**学校と家庭が連携しながら、子供たちの健やかな成長を支えていく**ことができると考えています。